

日本ユニシス デジタルハリウッド大学大学院とデイジーの3社で、 デジタルアート作品の管理や流通を支援する仕組み実現に向けた マーケティング成果を発表

日本ユニシスは、デジタルハリウッド大学大学院とデイジーの3社で、2019年度から3社共同で行ってきた「デジタルアート作品のマーケティング」についての研究、実証の成果を「デジタルハリウッド大学大学院 成果発表会 DEFAGMENT -DHGS the DAY-」にて発表します。

日本ユニシスは、デジタルハリウッド、デイジーの3社とともに、「デジタルアート市場」の拡大に必要なデジタルアート作品の管理・流通基盤の仕組み実現に向けて取り組んでいきます。

【デジタルハリウッド大学大学院 成果発表会 DEFAGMENT -DHGS the DAY-】

開催日時：2020年2月29日（土）13:00～17:00

会場：デジタルハリウッド大学/大学院 駿河台キャンパス

東京都千代田区神田駿河台 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 3F/4F

成果発表会 URL：<https://gs.dhw.ac.jp/event/200229/>

【デジタルアートの市場について】

「デジタルアート作品」は、屋内外でのプロジェクションマッピングを代表例に日々、新たな作品が生み出されています。それらは、コンピューターのプログラミングにより作品が制作されており、従来の絵筆などで制作されているこれまでのアート作品とは異なる、動きや変化を作品にもたらし、多彩な表現が実現できる注目の新しいアートの分野で、これから成長が期待される市場です。

今後も日本ユニシスは、ICTで培ってきた強みと実績を生かして、業種・業態の垣根を越えさまざまな企業をつなぐビジネスエコシステムの中核となり、顧客・パートナーと共に社会を豊かにする価値の創造と社会課題の解決を通じ、持続可能で活力ある未来社会づくりに取り組んでいきます。

以上

■デジタルハリウッド大学大学院について

日本初の株式会社立の専門職大学院として2004年に開学。超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、[SEAD(Science/Engineering/Art/Design)]の4要素をバランスよく身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により、「平成30年大学発ベンチャー調査」（経済産業省）では全国大学中11位、私立大学3位。

■デイジーについて

2004年に3DCG映像やビデオゲームを制作するチームとして創立して以来、エンタテインメント2分野を主軸としながらそれらのノウハウを活かしてアート制作や新規事業のプロトタイピングなどを行う。近年は映像、ゲーム制作と共にデジタルアートを制作し海外の展示会にも参加し日本政府主催の「日アフリカフォーラム」や軽井沢ニューアートミュージアムなどで展示しNHK「日曜美術館アートシーン」などで作品が紹介された。2016年からスタンフォード大学とインターンシッププログラムで毎年共同プロジェクトを行うなど、アートとテクノロジーの交差する可能性を模索する。

■関連 URL

デジタルハリウッド大学大学院 <https://gs.dhw.ac.jp/>

株式会社デイジー <https://daisy-co.com/>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係問い合わせ窓口>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/